

# さかた 市議会だより



第88号

令和8年5月1日号



『浜田小学校入学式』

## PICK UP 代表質疑

### 1月招集議会

令和8年定例会 会期決定

### 3月定例議会

予算特別委員会 令和8年度予算を可決



市ホームページ

## 📷 表紙写真説明

### 「入学おめでとう」

春のやわらかな光に包まれ、満開の桜が校門を彩る入学式。保護者に見守られながら、子どもたちは新しい一歩を踏み出しました。それぞれの個性がきらりと輝いています。これからの学校生活の中で、明るく、そして真つすぐに成長してほしいと願わずにはられない、そんな心温まるひと時です。

杉山 道弘委員 撮影

## 市政研究会

動画は  
こちらから▶



さとう ひろし  
佐藤 弘 議員

### 誰ひとり取り残さない社会の実現を

**問** 障がい者などの意見を反映し、一人ひとりに「居場所」と「出番」がある社会の実現に向け、誰一人取り残さないための具体的施策について伺う。

### 多くの声を集めるプラットフォームを本格運用へ

**答** 市長 令和7年度からより多くの市民の声を集める取り組みとして、オンラインで市民参加型合意形成プラットフォームの実証実験を行った。令和8年度には本格運用を開始する予定である。

## 無会派

動画は  
こちらから▶



たけだ けいこ  
武田 恵子 議員

### 下水道事業の効率化と経営の安定化を

**問** 市政方針では下水道事業の効率化や経営安定化への取り組みや農業集落排水の接続とあるが、今後の見通しについて伺う。

### 中長期的な視点で運営を進める

**答** 市長 下水道事業の効率化と経営安定化のため、老朽化した農業集落排水施設を公共下水道へ接続する広域化事業を進め、費用の削減を図る。今後も経営戦略や計画に基づき、中長期的な視点で点検や修繕を行い、持続的な運営を進めていく。

## 3月定例議会

# 代表 質疑

### 代表質疑とは

会派等の代表が、市長提出議案に対して、疑問を問い、議案の内容を明確にするためのものです。

3月定例議会では令和7年度・令和8年度の両年度の議案について質疑が行われました。

## 新和会

動画は  
こちらから▶



さとう しんじ  
佐藤 伸二 議員

### 山形新幹線の庄内延伸への機運醸成は

**問** 山形新幹線の庄内延伸は必ずや実現しなければならない事業であると考えて。市民の気運醸成、特にこれから生きる若者を取り込むことが必要と考えるが当局の考えを伺う。

### 講演会を広く周知し、機運醸成につなげていきたい

**答** 市長 令和8年度は県やJR東日本などへの要望活動、関係団体との意見交換、有識者による講演会を開催していく。特に講演会は、新聞への掲載などにより広く周知し、機運醸成につなげていく。

## 無会派

いちほら えいこ  
市原 栄子 議員



### 令和7年度

動画は  
こちらから▶



#### 基金の市民還元と生活支援のバランスは

**問** 物価高騰で生活が厳しい中、基金を積み増すだけでなく市民への還元や生活に密着した公共事業へ活用する考えはなかったか伺う。

#### 不測の事態に備えた基金確保が必要

**答** 市長 災害や不測の事態への備えとして一定の残高確保が必要であり、余裕があるとは捉えていない。将来を見据え適切な財政運営に努めていきたい。

### 令和8年度

動画は  
こちらから▶



#### 国保税の県単位化と市民負担への影響は

**問** この度の条例改正は、国保税の県単位化に向けた改正だが、今まで市民負担を抑えてきた市の姿勢を方向転換するのか。

#### 急激な負担とならないよう税率を設定する

**答** 市長 本市においては、標準税率を下回っている現状を考慮し、令和8年度も引き上げ、標準税率との乖離を解消していく。今後も基金残高の推移を勘案しながら、税率を設定し、市民負担が急激に上昇しないように抑えていく。

## 志友会

動画は  
こちらから▶



ごとう ひとみ  
後藤 仁 議員

#### 人口減少を前提とした施策の実施を

**問** 市政の運営上、人口の減少は避けられないことと考える。人口減少を前提とし、今住んでいる人やこれから酒田に住んでいただく人たちに対し、どのような施策を行っていくか、当局の考えを伺う。

#### 人口減少に適応したまちづくりを目指す

**答** 市長 所得向上や若者・女性の定住促進、全世代が活躍できる場、安心安全に暮らせるまち、物価高などの外的要因への適応の4本の柱を推進し、人口が少なくても豊かなまちを目指す。

## 無会派

動画は  
こちらから▶



おおかべ ようへい  
大壁 洋平 議員

#### 財政運営が厳しい中での事業の改善や見直しは

**問** 財政運営が厳しい中、特別交付金や補助があるものを除き、新規と拡充の事業が増えているように見える。令和8年度の事業の改善や見直しはどのように行ったのか所見を伺う。

#### 必要な事業の見直しは進めていく

**答** 市長 内部評価や外部評価を勘案し予算編成に生かしている。市としては市民が安心安全に暮らせるようにするという最終的な責任があると考えており、見直しなどが難しい面もあるが、必要な事業の見直しや統合は進めていく。

# 3月定例議会

## 【概要】

本定例議会では、令和8年度一般会計当初予算案をはじめ、様々な議案が審議されました。提出された議案は、慎重な審議を経て、すべて可決されました。

## 議会期間

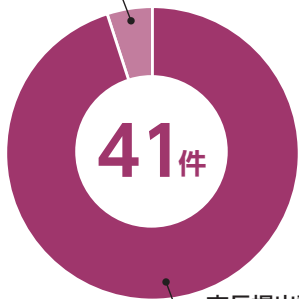
22日間

2/24 - 3/17



## 審議された議案

議員提出議案等 2件



市長提出議案 39件

## 常任委員会

2月25日と3月4日に各常任委員会を開催し、議案20件を審議しました。主な審査内容については次のとおりです。

### 【総務】

議第25号 酒田市基金条例の一部改正について

議第26号 酒田市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

議第27号 酒田市体育施設設置管理条例の一部改正について

### 【民生】

議第12号 酒田市過疎地域持続的発展計画の策定について

議第13号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

議第14号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

ほか 8件

### 【建設経済】

議第15号 請負契約の変更について（令和7年度農地・農業用施設災害復旧事業農地等災害復旧工事（その1））

議第16号 請負契約の変更について（令

和7年度農地・農業用施設災害復旧事業農地等災害復旧工事（その8）

ほか 4件

## 討論

討論とは…採決の前に、議員が議題に対して賛成または反対の意見を述べ、意見が違う議員の賛同を求めるもの。

3月12日に

2名が討論を行いました。  
討論の要旨は次のとおりです。

### 賛成討論

新和会 伊藤 欣哉 議員

議第17号

### 酒田市長令和8年度一般会計予算

本予算案は、人口減少や災害等の困難に対し、将来を見据えた備えと投資を両立させた内容である。特に若者・女性の定住促進に向けた雇用創出、小学校給食の無償化といった「こどもまんなか社会」の実装、観光による外貨獲得策を高く評価する。厳しい財政状況下で市債発行額を抑制しつつ、課題を絞り込み市民の安心と安全を追求した編成は妥当であり、一人一人が豊かに暮らせるまちづくりを具現化するものとして賛成する。

反対討論

無会派 市原栄子 議員  
いちほらえいこ

議第19号

令和8年度酒田市国民健康保険特別会計予算

議第34号

酒田市国民健康保険条例の一部改正について

国保税の引き上げは、低所得者の多い被保険者の生活を圧迫し、これまでの負担軽減姿勢を後退させるものである。子ども・子育て支援金による追加負担を生活基盤の弱い層に強いるには問題があり、基金の活用などで急激な負担増を避けることは可能であると考える。市民の暮らしを守る立場から、本予算案と条例改正に反対する。

議第20号

令和8年度酒田市後期高齢者医療事業特別会計予算

今回の後期高齢者医療保険料の改定は、医療費増加などが理由となっているが、年金生活者が多い後期高齢者にとって負担増は大きな影響がある。さらに、令和8年度からは子ども・子育て支援金が増加せられ、高齢者にも新たな負担が生じる。本制度は、市は徴収や資格確認書の発行などの事務を行うという仕組みであるが、市民負担が増える本予算に反対する。

インターネット中継・会議録検索システムの使い方

- 【アクセス方法】 ① 酒田市ホームページまたは検索サイトで「酒田市議会」を検索  
② 酒田市議会トップページから見たい項目をご覧ください

インターネット中継の使い方 携帯, タブレットからも

1 インターネット中継がスマートフォンでもご覧いただけます  
URL [https://smart.discussvision.net/smart/tenant/sakata/WebView/rd/council\\_1.html](https://smart.discussvision.net/smart/tenant/sakata/WebView/rd/council_1.html)  
【アクセス方法】 ① 酒田市トップページ「目的で探す」【議会】 → 「議会中継（外部リンクへ）」

過去の録画映像は、会議名、議員名などから検索してご覧いただけます。

ライブ中継を見る際は「LIVE」のマークがある項目選びます。録画映像は>を選びます。

本会議開催中は、こちらからライブ中継映像を「再生」でご覧いただけます。録画映像も操作は同じです。

会議録検索システムの使い方 すばやく検索

2 会議録検索システムで本会議での発言を検索できます。  
URL <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/sakata/pg/index.html>  
【アクセス方法】 ① 酒田市トップページ「目的で探す」【議会】 → 「会議録検索」

どちらか選んでクリック

発言者やキーワード、開催日などから会議録を検索し、閲覧できます。

## 予算特別委員会

3月5日から10日に議第17号令和8年度一般会計予算をはじめ、6特別会計予算、1事業会計予算の議案8件を審査しました。

審査の結果、議第19号および議第20号については、賛否両論があり、起立採決の結果、賛成多数で可決すべきもの、そのほかの議案は、原案を妥当と認め、全会一致で可決すべきものと決定しました。

### 質問があった主な事業

- 関係人口創出・拡大推進事業
- 結婚推進支援事業
- 地域おこし協力隊推進事業
- デジタル変革事業
- 飛鳥猫島外譲渡事業
- こころの健康づくり推進事業

## 主な質疑

### ● 関係人口創出・拡大推進事業

**問** 令和7年度に首都圏で交流イベントが実施されたが、今後酒田にゆかりのない層へどう広げるのか。

**答** 令和8年度は首都圏と酒田でのイベントを交互に開催する。一度つながった若者を実際に酒田へ呼び込み、地域の人・食・文化に深く触れてもらうことで、一過性ではない関係性を構築していく。

**問** ふるさと住民登録制度について、関係人口拡大にどう活用するか。

**答** 本制度は令和9年度からの本格実施を予定している。本市としては、令和8年度に先行して実施される国のモデル事業に応募・申請済みであり、制度実装に向けて意欲的に取り組んでいく。

**問** 関係人口を増やした後のビジョンについて伺う。

**答** 関係人口を様々な分野と連動させる戦略を立てている。単なる交流で終わらせず、今後、産業振興などの具体的な結果に結びつくビジョンを示していく。

### ● 結婚推進支援事業

**問** 令和7年度の1年間で、実際に結婚に結びついた件数はどのくらいか。

**答** サポートセンター推進員の相談・支援を経た成婚報告は4件であった。

**問** 県の支援もある中で、この成婚数という結果を市としてどう捉えているか。

**答** 決して多い数字ではないと認識している。お見合い自体は13件行われ交際に至るケースもあるが、成婚はハードルが高い。特に登録者が近隣市町に限られており、女性の登録者数が少ないことが課題である。

**問** 成婚に結びつかない要因は、単に女性の登録者が少ないという理由だけではないと感じるが、どう分析しているか。

**答** 引き合わせから成婚までには時間がかかるため、すぐに結果が出にくい。要因は多岐にわたるため、集約するのは難しいと考えている。



素敵な縁がありますように

### ● 地域おこし協力隊推進事業

**問** 今まで活動してきた方とこれから来る方との交流のような事業はあるのか。

**答** 着任するタイミングにばらつきがあり実施できていないが、今後そういった機会を作っていく。

**問** 地域おこし協力隊の定員を超えて応募があった場合、選考で制限することはあるのか。

**答** 制限するといったことは考えていない。予算が足りなくなるくらいの応募があれば、その時に随時検討していく。

**問** インターン制度を活用して地域おこし協力隊に着任した方はいるのか。

**答** インターン制度を活用した方が令和7年度10月から1名着任した。また、令和8年度から1名着任する予定の方がいる。

### ● デジタル変革事業

**問** 公式LINEや「さかたコンポ」へ未登録の市民に対しどのように促進していくのか。

**答** 継続的な周知に加え、より便利なサービスを展開していくことで、加入者の増加につながると考えている。具体的には、浸

水センサーと連動した通知機能などがあり、今後も生活に密着したサービスを展開していく。

**問** AIの活用とあるが、業務での活用か。それとも市民に対する公の場での活用か。

**答** 業務の内部での活用ということで導入を予定している

### ● 飛鳥猫島外譲渡事業

**問** 新年度はどの程度の猫を本土に連れてくる予定か。

**答** 島内には約100匹程度がおりと推測している。事業期間は3年間を予定しており、新年度内に行ける限り多くの猫を捕獲し、最終的には全頭の譲渡を目指す。



全頭捕獲を目指して

**問** ガバメントクラウドファンディングの目標額100万円は控えめではないか。

**答** サイト側の目安もあり初年度は100万円としたが、実際にはさらに多くの寄附が集まる可能性があると考えている。

### ● こころの健康づくり推進事業

**問** 相談内容にはどのような傾向があるか。  
**答** 不眠やだるさなどの不定愁訴、借金、職場の人間関係、家族のトラブルなど多岐にわたる。直近5年間では、人間関係、健康・発達、うつ・不眠症状の順に多い傾向にある。

**問** 相談を受けた場合の指導やサポートはどのようなになっているのか。

**答** 精神科医や精神保健福祉士による相談に、地区担当の保健師らが同席している。相談だけで終わらず、必要に応じて医療機関への接続や、その後の継続的なフォローアップを行っている。

**問** 産後うつ予防相談先は市内にいくつあるか。

**答** 健康課の窓口と子ども家庭センター「ぎゅっと」、および各総合支所が窓口となっている。



## 1月招集議会

令和8年1月9日〈議会期間1日間〉

会期の決定

令和8年定例会の会期を12月28日までの35日間に決定し通年議会が始まりました。

審議された議案等

●市長提出案件……………1件

## 予算特別委員会

議第1号令和7年度酒田市一般会計補正予算（第9号）

## 1月臨時議会

令和8年1月26日〈議会期間1日間〉

審議された議案等

●市長提出案件……………2件

## 予算特別委員会

議第2号令和7年度酒田市一般会計補正予算（第10号）

## 2月臨時議会

令和8年2月10日〈議会期間1日間〉

審議された議案等

●市長提出案件……………2件

## 常任委員会

〔建設経済〕

議第4号請負契約の締結について（繰越明許費）令和7年度農地・農業用施設災害復旧事業農地等災害復旧工事（その18）

## 予算特別委員会

議第3号令和7年度酒田市一般会計補正予算（第11号）

# 議会改革

## 全議員研修会を開催

令和8年1月21日、議会改革推進アドバイザーの佐藤淳氏を講師に招き、全議員を対象とした研修会を開催しました。

「対話する議会・議員」を目指して」と題した講演では、議会と市民、あるいは議員同士の「対話」のあり方について示唆に富むお話をいただきました。その後のグループワークでは、互いに問いを投げかけ合いながら議論を深める手法を実践的に学びました。

また、生成AIが地方議会にもたらす影響については、議員に求められる役割として「市民の声を聴く」「課題を設定する」「決断し、実現する」という3つの視点が示されました。本研修を通じ、議会における生成AIの活用必要性と、市民との対話がより重要になることを確認しました。



グループワークで議論を深める

### 令和8年定例会 第1回1月招集議会 議決結果一覧

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
議第1号	令和7年度酒田市一般会計補正予算（第9号）	予算特別	可決

### 令和8年定例会 第2回1月臨時議会 議決結果一覧

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
報第1号	専決事項の報告について（損害賠償の額の決定）	—	報告
議第2号	令和7年度酒田市一般会計補正予算（第10号）	予算特別	可決

### 令和8年定例会 第3回2月臨時議会 議決結果一覧

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
議第3号	令和7年度酒田市一般会計補正予算（第11号）	予算特別	可決
議第4号	請負契約の締結について（（繰越明許費）令和7年度農地・農業用施設災害復旧事業農地等災害復旧工事（その18））	建設経済	可決

### 令和8年定例会 第4回3月定例議会 議決結果一覧

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
報第2号	専決事項の報告について（損害賠償の額の決定）	—	報告
議第5号	令和7年度酒田市一般会計補正予算（第12号）	予算特別	可決
議第6号	令和7年度酒田市定期航路事業特別会計補正予算（第2号）	予算特別	可決
議第7号	令和7年度酒田市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	予算特別	可決
議第8号	令和7年度酒田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）	予算特別	可決
議第9号	令和7年度酒田市介護保険特別会計補正予算（第3号）	予算特別	可決
議第10号	令和7年度酒田市水道事業会計補正予算（第1号）	予算特別	可決
議第11号	令和7年度酒田市下水道事業会計補正予算（第1号）	予算特別	可決
議第12号	酒田市過疎地域持続的発展計画の策定について	民生	可決
議第13号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	民生	可決
議第14号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	民生	可決
議第15号	請負契約の変更について （令和7年度農地・農業用施設災害復旧事業農地等災害復旧工事（その1））	建設経済	可決
議第16号	請負契約の変更について （令和7年度農地・農業用施設災害復旧事業農地等災害復旧工事（その8））	建設経済	可決
議第17号	令和8年度酒田市一般会計予算	予算特別	可決
議第18号	令和8年度酒田市定期航路事業特別会計予算	予算特別	可決
議第19号	令和8年度酒田市国民健康保険特別会計予算	予算特別	可決

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
議第20号	令和8年度酒田市後期高齢者医療事業特別会計予算	予算特別	可 決
議第21号	令和8年度酒田市介護保険特別会計予算	予算特別	可 決
議第22号	令和8年度酒田市風力発電事業特別会計予算	予算特別	可 決
議第23号	令和8年度酒田市駐車場事業特別会計予算	予算特別	可 決
議第24号	令和8年度酒田市下水道事業会計予算	予算特別	可 決
議第25号	酒田市基金条例の一部改正について	総務	可 決
議第26号	酒田市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	総務	可 決
議第27号	酒田市体育施設設置管理条例の一部改正について	総務	可 決
議第28号	酒田市空家等の適正管理に関する条例の制定について	民生	可 決
議第29号	酒田市空地の適正管理に関する条例の制定について	民生	可 決
議第30号	酒田市印鑑条例及び酒田市手数料条例の一部改正について	民生	可 決
議第31号	酒田市保育所設置条例の一部改正について	民生	可 決
議第32号	酒田市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	民生	可 決
議第33号	酒田市介護保険条例の一部改正について	民生	可 決
議第34号	酒田市国民健康保険税条例の一部改正について	民生	可 決
議第35号	酒田市立酒田看護専門学校授業料等に関する条例の一部改正について	民生	可 決
議第36号	酒田市温泉・宿泊施設設置管理条例の一部改正について	建設経済	可 決
議第37号	酒田市悠々の杜温泉施設設置管理条例の一部改正について	建設経済	可 決
議第38号	酒田市農業者健康管理センター設置管理条例の廃止について	建設経済	可 決
議第39号	酒田市下水道事業の設置等に関する条例の一部改正について	建設経済	可 決
議第40号	令和7年度酒田市一般会計補正予算（第13号）	予算特別	可 決
諮第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	—	同意
諮第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	—	同意
議会第1号	酒田市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について	—	可 決
	議員派遣について	—	可 決

### 議会報掲載記事の訂正

「さかた市議会だより」第87号(2月1日発行)の掲載記事に一部誤りがありましたので、訂正しお詫びします。

【11ページ】富樫 覚議員 一般質問  
(正)「文化人を2人も輩出した」  
(誤)「文化人を2人も排出した」



3月13日、16日、17日に  
計19人が質問を行いました。  
質問と答弁の要旨は次のとおりです。

# 一般質問

一般質問とは…  
市政全般に関する  
状況や方針を質問し、  
報告や説明を求めたり、  
疑問を明らかにするもの。



生涯学習施設「里仁館」  
田中 廣 議員  
たなかひろし

## 里仁の心を受け継げないか

**問** 生涯学習施設「里仁館」が、令和8年度末に閉館する。旧里仁館高校の閉校に伴い、施設を活用してほしいとの県からの要請を受けて、延べ43万人の方々に活用されてきたが、施設の老朽化と担い手不足、運営に関わる補助金の大幅な削減が閉館理由とされている。「地域の自然と先人の心を学ぶ」をテーマに楽しい講座を数多く企画し、地域主導による生涯学習を実施してきた。里仁の心を受け継ぐ講座を市でも継続できないか伺う。

## シニア層の学びを支える新たな場を検討

**答** **教育次長** 里仁館は生涯学習の拠点として大きな役割を果たした。活動終了は残念だが意思を尊重する。里仁の心を基にした人づくりは今後も重要だ。魅力的な講座の特色を分析し、今まで利用していたシニア層が学びの機会を失わないよう、地域課題解決に資する新たな学習の場を市として提供できるよう検討していく。



日本一女性が働きやすい  
まちの実現を目指して  
武田 恵子 議員  
たけだけいこ

## 国際女性デーの取組は

**問** 3月8日は、国連が制定した国際女性デーだった。酒田市庁舎玄関には、市内で生産されている黄色い花を飾って雰囲気盛り上げていることが報道された。市民に意識づけることができた取組と評価しているが、展示以外にどんな取組をしたのか。また、次年度に向けた課題をどのように捉えているのか所見を伺う。

## 多様な啓発を実施し、認知度向上を図る

**答** **地域創生部長** イエローフラワーズの展示のほか、ミライニでの啓発展示や日和山公園六角灯台のライトアップ、市長メッセージの発信を実施した。

短い展示期間が課題であり、来年度は展示場所を増やすなど工夫を凝らしたい。



イエローフラワーで華やかに

## 他の

### 質問

100年続く森林を目指して



▲動画はこちらから

## 他の

### 質問

健全な行政経営の推進に向けて



▲動画はこちらから



若者・学生に選ばれるまち  
酒田の実現！

大壁 洋平 議員

### 集い・遊べる居場所の整備を！

**問** 市内の高校生・大学生・若者から、気軽に集まれる場所や遊べる場所を求める声が上がっている。こうした声に対し、本市は居場所整備を含め今後どのように対応していくのか所見を伺う。

### 既存施設を核にソフト面を充実させる

**答 副市長** 現在、ミライニやサンロク、民間のコワーキングスペースなどが若者の居場所として一定程度機能している。利用者からは第3の居場所や遊び場の設置を求める声も届いているが、将来に向けたやりがいや自己研鑽を求める若者も増えている。今後はハード整備よりも、若者のアイデアを反映したソフトコンテンツの充実に注力し、既存施設の魅力を高めることで若者の多様なニーズに応えていく。



賑わいも暮らしやすさも  
共に創る公益のまち酒田

松本 国博 議員

### 令和8年度の酒田はここに注目！

**問** 駅前再開発やクルーズ船の寄港、LCC就航、旧商業高校跡地利用など、行政が関わる大きな事業は長い年月を要するものである。また、感染症や自然災害により計画どおりに進まない事態も発生する。年度初めには、市民に向けた具体的な施策の公表と同時にメインとなる大きな政策もわかりやすく掲げる必要があると思う。改めて市として令和8年度に際立たせたい政策の柱を伺う。

### 観光や産業振興を柱に豊かなまちを創る

**答 市長** 令和8年度は、ホテル建設の支援や旧かんぼの宿の計画具体化、20回以上のクルーズ船寄港など、外からの活力を経済効果へつなぐ観光施策に注目してほしい。再エネやIT企業の誘致、既存企業の「若者・女性に選ばれる職場」への改革を後押しする産業振興も進める。市民一人一人が主役となり、幸せに暮らせるまちづくりを推進していく。



今年のクマ、イノシシ対応

後藤 啓 議員

### 交付金活用で効果的な対策を

**問** 昨年、過去最高のクマ出没件数と捕獲頭数を記録し、今年も出没が危惧される。クマに加えイノシシの目撃もでてきており、クマ、イノシシへの対応が求められている。鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、クマ、イノシシによる人的被害の防止と農作物への被害軽減を効果的に進めるための本市の具体的な考えを伺う。

### 地域ぐるみで捕獲と侵入防止を強化する

**答 副市長** 交付金を活用し、捕獲、侵入防止、生息環境管理の3本柱で対策を進める。新たに設立する協議会を主体に、有識者の助言を得ながら地域ぐるみで取り組む。箱わななどの資材増強を図り、捕獲圧を強めて被害軽減に努める。



困った!!増えるイノシシ

### 他の質問

稼ぐ・稼げるまちに



▲動画はこちらから

### 他の質問

下水道事業ウオーター PPP (公民連携手法)



▲動画はこちらから

### 他の質問

大雨災害からの復旧・復興



▲動画はこちらから



福祉の充実と観光の  
おもてなしにつながる

遠田 敏子 議員

### 移動支援アプリ「ナビレンス」の導入を

**問** 令和2年10月のデジタル変革戦略室開設以来、市民目線で利便性の高い住民サービスが実現している。令和8年度には聴覚障がい者支援や観光客向けの音声ガイドがスタートするなど市民サービスが加速する。視覚障がい者の体の一部となり得る移動支援アプリ「ナビレンス」をこれらと同時に導入する考えはあるか所見を伺う。

### 障がい者の不安解消へ導入を研究する

**答** **健康福祉部長** 視覚障がい者の自立を支援する有効なツールと認識している。公共施設への設置について、先行自治体の事例を参考に、コスト面や導入手法などの情報収集を行いながら、不安解消に向けた設置のあり方を研究していく。



移動支援がスマホで簡単に

### 他の質問

女性が安心して働き続けられる環境づくり、緊急避妊薬の販売開始



▲動画はこちらから



クルーズ船寄港23隻  
7万人来訪の酒田港

佐藤 猛 議員

### クルーズ船の寄港による効果と対応は

**問** 新年度は過去最高となる23隻のクルーズ船が酒田港に寄港する。乗客定員数5万人、クルーズ客船が2万人と合わせて7万人余りが来訪する。定員数が152人の小さな船から4千386人の大型船があり、乗客も欧州系中心の船や「MSCベリツシマ」のように日本人のお客様が主体となる船など多種多様である。これらのお客様が寄港されることへの対応と経済効果について伺う。

### 船の特性に合わせた戦略的なおもてなしを展開

**答** **市長** 過去最高の寄港数は、地道な誘致と市民の温かなおもてなしが評価された結果だ。来年度は客船の規模や乗客の国籍に応じた受入れ体制を区分し、柔軟で持続可能な対応を構築する。特に日本人が主体の大型船寄港は大きな好機であり、直接消費額は約4億8千万円に達する見込みだ。市内事業者と連携し、回遊促進と消費単価の向上を図る。

### 他の質問

東北公益文科大学の公  
立化、酒田市公共施設等  
総合管理計画



▲動画はこちらから



若年女性の市外流出原因  
の仮説と検証は

ガンバリニ 杏子 議員

### 現行施策とターゲットに相違がないか

**問** 本市では、若者、特に若年女性の流出に対し「日本一女性が働きやすいまち」宣言やえるぼし認定企業数の拡大、家庭内への啓発など様々な取組を行っている。しかし依然として転出超過の流れが止まっていない現状を見れば、現行施策とは別の原因である可能性もあるのではないか。本市では流出原因についてどのような仮説を立て、検証を行っているのか伺う。

### ジェンダー不平等による閉塞感が流出要因

**答** **地域創生部長** 女性の転出理由には、進学・就職先の不足に加え、固定的な性別役割分担意識による閉塞感や生きづらさがあると推測される。働きやすい職場を増やすだけでは効果は限定的と考え、意識改革などの新たな施策を検討していく。



えるぼし認定マーク  
※女性活躍を推進する企業を厚生労働大臣が認定する制度

### 他の質問

デジタル化による子育て世  
代の負担軽減、産後ケアの  
上限年齢の根拠と引上げ



▲動画はこちらから



### 教職員給与特措法改正と働き方改革の推進

佐藤 弘 議員

### 「働きやすさ」と「働きがい」のある職場に

問 2025年6月、改正教職員給与特措法が可決・成立した。働き方改革の大きな柱組みとして2019年に示された「3分制」も一部改められ、法改正により2029年度までに「月平均30時間程度」の時間外勤務とする目標が掲げられた。学校の働き方改革を推進し、学校を「働きやすさ」と「働きがい」のある職場にするために、教育委員会としてどのように取り組んでいくつもりか所見を伺う。

### 業務量管理計画を策定し環境づくりを推進

答 教育長 文科省の指針に即した計画を策定中で、時間外勤務を月平均30時間程度へ削減することを目指す。具体的には教育課程の見直し、業務の「3分制」による役割分担の適正化、持ち帰り業務の縮減などを進める。教職員が専門性を発揮し、仕事と生活を充実させ、子どもたちによりよい教育を行える環境づくりに努めていく。



### 医療費低減のインセンティブや国保財調基金の行方は

伊藤 欣哉 議員

### 国民健康保険税の県統一化に向けた取組は

問 平成30年度から国民健康保険制度の持続性を担保するため、都道府県が財政運営の主体となった。本県では令和11年度までに市町村からの納付金の統一を図り、令和15年度までに各市町村が徴収する国民健康保険税を統一している。本市は他市町村に比べ医療費指数が低く、国保財政調整基金も積み立てられている状況にある。納付金および税率の統一により、本市が不利益が生じることのないよう取り組む必要があると考えるが所見を伺う。

### 医療費抑制へのインセンティブ確保を要望

答 健康福祉部長 県は令和11年度に納付金、15年度に税率を統一する予定だ。統一後も本市のように医療費を抑えている自治体の意欲低下を防ぐため、指数に応じた交付金の設定が検討されている。積立基金も将来の税収補填や保健事業に活用できるように県と協議が進む見込みであり、市として適切に要望していく。



### 「山形新幹線庄内延伸」実現を!!

池田 博夫 議員

### 市長の決意を問う

問 本市では、故本間正巳市長が庄内全体の振興策として取り組んできた「山形新幹線庄内延伸」の要望があったが、残念ながら実現には至らず、令和3年には推進組織が解散した。昨年までは、本市の重要事業要望や庄内開発協議会による要望を行うのみとなっていたが、昨年6月の吉村知事の発言によって新たな風が吹き、大きな動きとなってきた。矢口市長は、本事業を「一丁目一番地」として掲げ、市民や関係団体をけん引し、先頭に立って取り組むべきと考え、その姿勢を伺う。

### 地域の熱意を原動力に早期実現を目指す

答 市長 庄内延伸は県内4地域を結び、均衡ある発展を成す重要事業だ。既存線路の活用はより早い実現が可能で、米沢トンネルの整備効果を全県に波及させる上でも有効である。今後、有識者講演会等で機運を醸成し、最上・庄内地域が連携して熱意を県の早期調査実施に結びつけていく。

### 他の質問

中・高校生の通学費支援事業、医療的ケア児童支援事業の拡大



▲動画はこちらから

### 他の質問

夢があり、儲かる農業で豊かなまちを創るために、ふるさと納税について



▲動画はこちらから

### 他の質問

ほかの質問はありません



▲動画はこちらから



本市の自治体DXの推進  
取組状況と検証は

安藤 浩夫 議員  
あんどう ひろお

### 財源とDX化推進のバランスの検証

**問** 本市の自治体DXとして、さかたコンポの開設、オンライン申請の推進、医療・介護連携DX、窓口を一元化するスマート窓口など多くの取組を行ってきた。令和8年度は、デジタル戦略課を新設し内部業務の効率化や職員のスキルアップを図るが、デジタルと行政のどちらもわかる人材の育成が必要ではないか。また、開始から5年が経過し、財源、必要経費とDX推進のバランスを検証する必要があるのではないか伺う。

### DXによる業務改革で対人サービスを強化

**答 企画部長** 5年間、オンライン申請や窓口改革等で利便性向上や負担軽減に成果を得た。今後はデジタル戦略課を中心に、生成AIの活用やBPRに注力する。DXで事務コストを圧縮し、生み出された人的リソースを「人間にしかできない仕事」に集中させ、より質の高い市民サービスを提供できる体制を構築していく。



企業版ふるさと納税の  
拡大に向けて

杉山 道弘 議員  
すぎやま みちひろ

### 酒田地域貢献メニューで募ることは

**問** 近年、個人ふるさと納税額が減少している一方で、企業版ふるさと納税はどうか。大手企業は環境・社会・ガバナンスの3つの要素を重視した持続可能な成長を目指すESG経営をアピールするために、「質の高い地域貢献の機会」を求めている。そこで、本市独自の酒田地域貢献メニューを示し、企業へセールスをかけることはできるか伺う。

### 魅力的な活用メニューで新規寄附を検討

**答 地域創生部長** 寄附の用途を具体的に示すことは重要だ。次年度以降、世界ジオパークやGX関連など、企業にとって魅力的なメニューの設定や見せ方を検討したい。制度改正に留意しつつ、新規案件の獲得に向けた発信を強化していく。



鳥海山・飛鳥ジオパーク



飛島の暮らしを守る生活  
安全保障の再構築を

市原 栄子 議員  
いちばら えいこ

### 高齢化を踏まえた危機管理の転換を行うべき

**問** 今冬の定期航路の長期欠航は、島民の生活基盤を揺るがす事態となり、島民に多くの不安を与えた。人口減少と高齢化の進行など、以前と比べて島の暮らしは変化している。定期航路が止まった場合の生活リスクは、かつての飛島とは比べものにならないほど大きくなっていると考えられる。行政の対応についても、現在の飛島の実情を前提とした危機管理体制へと見直していく必要があるのではないかと所見を伺う。

### 生活基盤の維持と新造船で就航率向上を図る

**答 副市長** 長期欠航に際し、全戸訪問で健康や備蓄状況を確認し、必要に応じ公的備蓄食料を配布した。今後は冬の滞在者への注意喚起や心理面でのケアも強化する。また、県と締結した覚書に基づき、定期船の長期欠航時には、県・市の備蓄食料を活用する。緊急度の高い場合は、ヘリコプターの出動を関係機関に要請する体制で島民支援に臨む。

### 他の質問

災害対策の「共助」について



▲動画はこちらから

### 他の質問

冬季における「白鳥」の  
観光利活用について



▲動画はこちらから

### 他の質問

ほかの質問はありません



▲動画はこちらから



定期船「とびしま」の  
安定就航に向けて

守屋 紀彦  
議員

## 新造船に向けての今後の見通しは

**問** 現在の定期船「とびしま」は就航から15年目を迎え老朽化も進行しており、就航率の高い新船への更新の期待が高まっている。不安定な就航は島民にとって生活上の大きな不安要因であり、観光客や利用者からも最も不満の多い問題となっている。新造船に向けての今後のスケジュールについて伺う。

## 令和11年9月の新船就航を目指す

**答** **市民部長** 現行船の弱点を踏まえ、新造船は大型化を避け高性能な単胴船への変更も考えられる。今月中に改善計画を国へ提出し、令和8年度に仕様検討、9年度に事業者選定、11年9月の就航を目指す。特定有人国境離島法の支援活用も視野に、建造と船員確保に注力し、離島の生命線である航路維持に全力で取り組む。



定期船「とびしま」



災害時集落孤立対策

富樫 覚  
議員

## 集落孤立対策と個別避難計画の連携は

**問** 災害では要配慮者の被害が大きくなる傾向がある。例えば東日本大震災では、高齢者が亡くなった割合が非常に高いことが問題となった。集落が孤立という特殊な状況下では特に支援が重要になる。理由としては救助がすぐには来ないことや、避難するのに時間がかかることなどが挙げられる。したがって、災害時集落孤立対策と個別避難計画の連携が必要と考えるが、そのような備えはあるのか伺う。

## 個別避難計画を活用し、関係機関と連携し救助

**答** **危機管理監** 個別避難計画は災害時の支援や安否確認を円滑にする目的で整備しており、集落孤立時も活用し要支援者の確認を行う。また、食料分散備蓄や情報伝達手段の確保に努めるとともに、状況に応じヘリコプター等による救助や物資輸送が円滑に行われるよう関係機関と連携し、有事の際は速やかに対応できる体制を整え、住民の安全を確保する。



持続可能な財政基盤の確立

高橋 千代夫  
議員

## 財政展望からみる財政運営と投資的事業

**問** 将来にわたる持続可能な財政基盤を確立するため、本市の現状認識と今後の方向性を整理した上で、財政の硬直化を防ぐ公債費の抑制や、安定的な運営に不可欠な基金残高の確保、さらには投資的経費の平準化を長期的な視点でいかに進めていくのかあわせて、財源確保に向けたより有利な公金運用の実態や、ネーミングライツなどの民間活力を活用した取組の現状と今後の展開を伺う。

## 公債費と基金を管理し、健全な財政運営を維持

**答** **総務部長** 公債費の抑制と基金残高の確保により、厳しい財政状況を脱した。今後は公共施設適正化や投資的経費の平準化を進め、将来世代の負担を軽減する。また、財政展望に基づき歳出削減の「守り」だけでなく、産業振興や観光誘客など税収増を図る「攻め」の施策にも注力し、持続可能な財政基盤と市政の発展を両立させる。

## 他の質問

山形新幹線庄内延伸



▲動画はこちらから

## 他の質問

衛星通信網スターリンクの導入



▲動画はこちらから

## 他の質問

酒田市教育の今後の考え方は



▲動画はこちらから

他の質問

いじめにおける「重大事態」の対応について



▲動画はこちらから

他の質問

小学生の国語教育とタブレット学習、酒田市まちなかブランドデザインの今後の取組と課題



▲動画はこちらから



移動困難者の投票権を守る  
タクシー送迎支援

佐藤 千佳夫 議員

移動困難者への送迎支援導入の所見は

問 選挙の投票所に行きたくても自力での移動が困難で、移動手段がないために投票を棄権せざるを得ない有権者の「投票の権利」を保障するため、タクシーなどによる送迎支援を他市町村でも導入している。本市としても、移動困難な方の投票所までのタクシーなどによる送迎支援を導入すべきと考えるが所見を伺う。

移動支援は重要課題、導入に向け調査研究

答 選挙管理委員会委員長 移動手段がなく投票を棄権せざるを得ない有権者の存在は、大変重要な課題であると認識している。タクシーによる移動支援については現在検討を進めており、不公平感を招かない対象者の基準設定や利用しやすい制度設計が主な課題である。今後は先進事例を参考に調査・研究を深め、権利が最大限尊重されるよう、現実的に対応可能な部分から順次取り組んでいく。



「手話言語条例」の制定を

市村 浩一 議員

市民の理解促進と共生社会の基盤づくり

問 手話は、2011年の改正障害者基本法で「言語」として位置づけられ、その普及と環境整備を目的に全国の自治体で「手話言語条例」の制定が進んでいる。デフリンピックでの酒田市出身選手の活躍や東北公益文科大学でも「日本手話」の科目が開講されるなど、手話の普及と環境整備が求められる。これを機に本市でも「手話言語条例」を制定し、共生社会の実現に向けて取り組むべきではないか伺う。

条例制定を視野に入れ、共生社会を推進

答 健康福祉部長 手話を言語と捉え、理解と普及を図る手話言語条例の制定は、共生社会の重要基盤である。本市も将来の制定を視野に、地域特性に即した実効的な内容を検討する。あわせて、庁舎等への遠隔手話通訳システムの導入など、ハード・ソフト両面から聴覚障がい者との円滑な意思疎通を支援する環境整備に取り組む。

議会活動日誌 *Diary*

1月	2月	3月
5日 議会運営委員会	6日 議会運営委員会	3日 本会議
9日 1月招集議会 本会議 予算特別委員会 議会運営委員会 議会改革推進特別委員会 議会報編集委員会	10日 2月臨時議会 建設経済常任委員会 予算特別委員会 議会運営委員会	4日 総務常任委員会 民生常任委員会 建設経済常任委員会 建設経済常任委員協議会 議会報編集委員会
19日 議会報編集委員会	16日 総務常任委員協議会 民生常任委員協議会 建設経済常任委員協議会	5日 予算特別委員会 (~3/10)
22日 総務常任委員協議会 民生常任委員協議会	18日 議会運営委員会	10日 議会運営委員会
23日 議会運営委員会	24日 3月定例議会 (~3/17) 本会議	13日 本会議 総務常任委員協議会 議会改革推進特別委員会 議会報編集委員会
26日 1月臨時議会 本会議 予算特別委員会 議会運営委員会	25日 民生常任委員会 建設経済常任委員会 予算特別委員会 議会運営委員会 議会改革推進特別委員会 議会報編集委員会	13日 本会議 議会運営委員会
2月 5日 総務常任委員協議会 民生常任委員協議会 建設経済常任委員協議会	27日 本会議	16日 本会議 17日 本会議 予算特別委員会 議会運営委員会

# 令和8年 6月定例議会の予定

日	月	火	水	木	金	土
5/24	25	26	27	28	29	30
			請願提出締切			
5/31	6/1	2	3	4	5	6
			本会議	(議案調査日)	本会議 (代表質疑)	
7	8	9	10	11	12	13
	常任委員会			予算特別 委員会		
14	15	16	17	18	19	20
	本会議 (委員会 審査報告)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)		

※日程は5月28日開催予定の議会運営委員会で決定します。

## 酒田市議会を傍聴してみませんか

### 受付方法

#### ●本会議、予算特別委員会

市役所3階議場の傍聴席入口前にある受付カードに住所・氏名を記入の上、受付箱に入れ、傍聴席に入場ください。

※団体で傍聴を希望する場合は、事前に議会事務局へお問い合わせください。

#### ●各常任委員会

市役所3階議会事務局で、開会予定時刻の30分前から受付を行います。各委員会の傍聴定員は5名です。定員を超えた場合は、抽選などにより傍聴者を決定します。

※傍聴の際は、スマホなどの電源をお切りください。また議会、各委員会の許可なく写真撮影等や録音はできません。

## 編集後記

春が駆け足でやって来て、一気に野山を春色に変え、夏色に変えながら通り過ぎていきます。時の進むのが早いのか、四季の境界があいまいになったのか。さて、最後までお読みいただきありがとうございます。今号から、「市議会だより」を刷新しました。これから2年間、表紙写真は、議会報編集委員が撮った写真を掲載してまいります。市民の皆様が、見やすく、わかりやすい紙面づくりに努めてまいります。皆様のご意見・ご質問等お寄せください。

(田中廣)

### 議会報編集委員会

委員長 遠田 敏子 委員 ガンバリーニ 杏子 田中 廣 守屋 紀彦  
副委員長 杉山 道弘 大壁 洋平 後藤 啓 齋藤 直

※市議会だよりに対するご意見・ご質問などがありましたら、お気軽にお寄せください。